

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：商工費 項：商工費 目：中小企業振興費

事業名【新】業務細分化・最適化支援事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 労働雇用課 労働企画係 電話番号：058-272-8402(内3663)

E-mail：c11367@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 5,698千円 (前年度予算額：0千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	5,698	4,558	0	0	0	0	0	0	1,140
決定額	5,698	4,558	0	0	0	0	0	0	1,140

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

- ・ 少子高齢化や人口減少に加え、本県の女性・若者の多くが「職業上」の理由で県外へ流出し（20代女性が顕著）かつ、帰ってこないことから、県内企業は人材不足に陥っている。
- ・ 適当な仕事がないとして働いていない人が83万人規模（全国）で存在する中（R7 4-6月期 労働力調査）、子育て・介護等でフルタイム勤務が難しいものの、限られた空いている時間や場所で働くことを希望する層が存在。
- ・ このため、県内企業へ労働者に合わせた柔軟な働き方（働いてもらい方改革）の導入を促進し人材不足を解消するとともに、県内企業の競争力・生産性向上を図る。

(2) 事業内容

- ・ 本県主要産業の製造業等中小企業への「働いてもらい方改革」に資する業務の細分化・最適化（マイクロワーク）の導入を促進するため、①シンポジウム・セミナー ②ワークショップ ③パイロット事業を一連で提供し、以下を実現する。
 - － 女性や若者がワクワク・柔軟に働ける職場の創出
 - － 人材確保・定着促進／県外への人材流出阻止
 - － 県内企業の競争力・生産性向上
 - － 県民の世帯収入・可処分所得の増加

(3) 県負担・補助率の考え方

国4/5、県1/5

※厚生労働省地域活性化雇用創造プロジェクトを活用予定

(4) 類似事業の有無

なし

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託費	5,453	企画、セミナー、ワークショップ、パイロット事業
審査会謝金	53	審査員謝金@10,500円×5人
旅費	174	業務旅費（県内、東京）、審査委員費用弁償（5人）
需用費	6	コピー代、会議費（審査会お茶代5人）
役務費	12	電話、郵便料金等
合計	5,698	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

○岐阜県経済・雇用再生戦略

3 人材確保・雇用対策プロジェクト

(3) 地域の産業で活躍できる人材の育成・確保、雇用維持

- ・雇用のミスマッチ解消、成長分野への労働移動、多様な働き方の促進等、人材の確保や雇用維持に向けた取組みを促進する。

○岐阜県男女共同参画計画（第5次）

1 男女がともに活躍できる社会づくり

(2) 働く場における男女共同参画の推進

- ・育児・介護休業、短時間勤務、フレックスタイム勤務、テレワークなどライフスタイルに応じた多様な働き方について普及を進めます。

(2) 国・他県の状況

- ・類似事業なし

(3) 後年度の財政負担

- ・事業成果を単年度ごとに判断し、継続あるいは中止を判断

(4) 事業主体及びその妥当性

- ・県内主要産業である製造業等における人材確保、産業・経済振興のため、県が取り組むのが妥当

事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

・働いてもらい方改革に資する業務の細分化・最適化（マイクロワーク）の導入手法を提供し、県内企業の人材確保・定着促進・生産性向上を行う。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R7)	R8年度 目標	R9年度 目標	R10年度 目標	終期目標 (毎年度)	達成率
①ワークショップ参加企業数	-	30社	/	/	30社	
②マイクロワーク導入企業数	-	3社	/	/	3社	

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %
令和5年度	指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %
令和6年度	指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない

(評価)

・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

3:期待以上の成果あり
2:期待どおりの成果あり
1:期待どおりの成果が得られていない
0:ほとんど成果が得られていない

(評価)

・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている

(評価)

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント
又は事業名及び所管課
組み合わせる理由
や期待する効果 など

【〇〇課】